

建築もエクステリアもできる
強みを生かして、外と内とが調和した
「庭から発想する家」をめざす

5年前、30歳で会社を創設。当初は建築リフォームを主体にしていましたが、次第にエクステリアの仕事が増え、面白さも感じて、いまではエクステリアが主体になっています。それでも建築ができる、お客様の建物のご相談にも乗れますので、また違う付加価値がありますね。「エクステリアだけでなく、家のこともわかっていて信頼できる」代表取締役 田井輝彦様とお客様によく言われます。



代表取締役 田井輝彦様

当社のデザインコンセプトは「ワクワクと楽しく変化させる」こと。お客様が求めるものに合わせるだけでなく、プラスアルファの楽しさを提案するように心がけています。ただ最近、合い見積もり時などにプランが流出することがあるので、プランニングは有料にし、契約までは図面を渡さない...などの自衛策をとっています。それでいったんは遠のいたお客様も、あちこちまわった末に、やっぱりうちで戻ってこられることが多いですね。

現在、スタッフは3名。プランニング担当が1名、現場担当が1名で、社長の私は営業・見積もり・現場まですべてを行います。実績は月に6~10件。そのうえ建築の仕事もあるので、大忙しの毎日です。

販促活動は、新聞折り込みチラシや「POLISH」という地元のミニコミ紙などを活用。HPでお客様の施工例なども紹介しています。そういった活動の成果もあってか、一般のお客様に少しずつ認知されている手ごたえを感じますね。当初は工務店からの紹介が8割以上だったのが、最近では工務店紹介5:一般のお客様5というぐらいの割合になってきています。

今後は、建築も外構もできる強みを生かして、「庭から発想する家」をつかっていきたいですね。そうすれば、水道管ひとつでも外と内とで使いやすく設置できるし、パランスのとれた美しい外観が実現しますので。現在手がけている大津市の風致地区の新プロジェクトは、まさにそんな発想の街並みです。全17戸のエクステリアをハウスメーカーがプロデュースするのをお手伝いし、建築の計画段階から参画し、建築設計と外構を同じ土俵で進めていきました。いよいよこの秋に着工ですが、家と外とが調和した住まいになると思うし、街並みの景観も統一感があって美しく仕上がるのではないかと期待しています。



新聞折り込みチラシやHPで積極的に広報活動も。チラシにはお客様の事例やご相談の手順などを紹介しています。

H様邸

エクステリアにあまり予算が取れない場合でも、ただの「シンプル」に終わらない斬新な工夫をこらします。門柱の塗り壁にはフッ素を使って汚れにくく仕上げられていますし、カラーのガラスブロックやマリンランプを組み込んでおしゃれに演出しています。植栽も右隅にシマトネリコ、中央にハナミズキを植えてやさしいアクセントに。カーポートには「カムフィアワイド」を採用。アーバングレーのやさしい色が、ライトな建物の雰囲気に自然に調和しています。



【外観全景】
建物に合わせて、シンプルでモダンなイメージにまとめたエクステリア。オープン外構でありながら、互い違いに立てた門柱の間にハナミズキを植えて、玄関付近が丸見えにならないように、さりげなく目かくししています。



【アプローチから玄関へ】
アプローチの床は石張りとし砂利敷きを組み合わせ変化をつけ、ナナメに誘導して奥行き感を。共働きのご夫婦が夜帰宅したとき、門柱のマリンランプが明るく灯り、ガラスブロックを通して柔らかな光が美しくひろがって、心を和ませてくれるとのこと。



【正面からの全景】
淡いイエローの建物と、オレンジ系の庇、アイボリーベージュの塀や床など、建物とエクステリアの色配分は、一緒にプランしただけに絶妙。高低差を利用して、右側はオープンな駐車場、左側はセミクローズドな塀を設け、視覚に変化をもたらしています。駐車スペースはナナメに取ることで勾配もゆるやかになり、見た目のバランスも美しく、出し入れしやすいと好評です。



【ロゴマークの妻飾り】
屋根近くには「ガーデンフィールズ」様のロゴマークの妻飾りが、奥様もお気に入りです。

N様邸

建物もエクステリアも両方請け負った「庭から発想する家」の例。お客様の「家の予算はなるべくおさえて、庭や外回りを充実させたい」という要望もあって、建物はレンガ張りを一部だけにするなどシンプルにまとめ、その分エクステリアにきちんと予算を取りました。両方一緒にプランングしたため、配管や電気マスの位置など、設備工事もと変更がなくスムーズに。そして、土地の高低差を生かしてオープンな感覚を残しながら、さりげなく空間を仕切ったセミクローズドタイプのエクステリアが完成。家の雰囲気に合わせて、門扉はクラシカルモダンな「プロヴァンス」を採用。「何もかもステキ」と奥様も大満足です。



【玄関から門を見おろす】
曲線を多く使ったなだらかな印象に仕上げられていますが、こうして見るとかなり高低差があるのがわかります。床材は天然石張りふうのスタンプコートを使用。予算をおさえながらも豪華に見せています。門の脇のシンボルツリーはミモザ。春先にはこの家にぴったりの黄色い花を咲かせます。



【横伝いに門へのアプローチ】
なだらかな曲線が、やさしく入り口に迎入れてくれます。門はタイル貼りで、同じタイルを塀にライン張りしているのがおしゃれ。塀の下は植え込みにして、植栽は奥様に好きなものを選んでもらいました。